

氏名	Mami Hirota Shields
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第3196号
学位授与の日付	平成10年3月25日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Seroepidemiology of hepatitis E on Japanese expatriates in Southeast Asian countries:a study at a clinic in Singapore (東南アジア在住日本人のE型肝炎の血清疫学：シンガポールの診療所における研究)
論文審査委員	教授 辻 孝夫 教授 青山 英康 教授 原田 英雄

### 学位論文内容の要旨

東南アジア在住の日本人のE型肝炎抗体陽性率を調べるため、シンガポールの一診療所において二次的調査を行った。第一期調査は1993年1月から1994年8月までの外来受診者のうち臨床的に肝炎が疑われた患者、及び健診受診者で肝機能検査異常があった179名についてE型肝炎(HEV)のIgG及びIgM抗体をELISA法で測定した。179名のうち13.4%がIgG抗体陽性、IgM抗体を測定した142名のうち3.5%がIgM抗体陽性で、1名が両抗体とも陽性であった。第二期調査は1995年1月から4月までの健診受診者のうち肝機能検査を行った168名全例について検討し、8.9%がIgG抗体陽性であった。肝機能の正常群と異常群(22%)のHEV-IgG抗体陽性率の間に統計学的有意差はなかった。日本在住日本人のHEV-IgG抗体陽性率は0.05%程度と考えられており、東南アジア在住日本人のE型肝炎の抗体保有率が有意に高いことを示した。

### 論文審査結果の要旨

本研究は、東南アジア在住の日本人のE型肝炎抗体陽性率を調べるため、シンガポールの一診療所において調査を行ったもので、179名についてE型肝炎(HEV)のIgG及びIgM抗体をELISA法で測定した結果、13.4%がIgG抗体陽性、IgM抗体を測定した142名のうち3.5%がIgM抗体陽性で、1名が両抗体とも陽性であったという極めて興味ある知見を得ている。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。